

Title	英語のジョークに関する一考察
Author(s)	三原, 京
Citation	Osaka Literary Review. 33 P.29-P.41
Issue Date	1994-12-20
Text Version	publisher
URL	https://doi.org/10.18910/25460
DOI	10.18910/25460
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

英語のジョークに関する一考察

三原 京

1. はじめに

ジョークは英語にも日本語にも存在するが、英語のジョークは日本語に直訳しても理解されるのだろうか。この疑問を解くために、ジョークの落ちについて大学生41人（男子12人、女子29人）に調査を行なった。調査に使ったジョークは全部で30例（付録参照）で、次のように三つに分類できる。

1～10は、一つの語句に同時に二つの意味を持たせているジョークの例である。三つの選択肢のうち、①がひとつの意味、②がもうひとつの意味の日本語訳になっている。③は全く関係がない。例えば（1）を見てみよう。落ちで使われている“cast”は「ギプス」と「配役」という二つの意味を同時に持っている。

- (1) “I’m desperate to get a job as an actress.” “Why don’t you break your leg?” “Break my leg?” “Sure--then you’d be in a cast for months.”

そこで日本語訳では、この落ちの部分空白にし、「ギプス」という解釈を①、「配役」という解釈を②として、三つの選択肢を用意した。

- (1) 「私、どうしても女優になりたい」「それなら脚を折ったら?」「脚を折る?」「そうだよ。そうすれば何ヵ月か_____」①ギプスをはめていられるよ ②役をあててもらえるよ ③同情してもらえるよ

この中から落ちとしてふさわしいと思うものを選んでもらった。本来なら①②両方を選んではじめて正解となるのだが、この場合はアンケート作成の都

合上、不正解が③ということに焦点をあてた。したがって③を選んだ者のみ不正解者として扱い、その他の者を正解者とした。

11～20は、一つの語句の意味が、途中で転換している例である。読者が A の意味だと思っていた語句が、落ちの部分で、その語句のもうひとつの意味 B にすり替えられる。三つの選択肢は、ひとつが転換前の意味、もうひとつが転換後の意味になっている。この転換後の意味が正解の選択肢である。残りのひとつは全く関係がない。(11) を見てみよう。この “big” は最初は「(成長して) 大きい」という意味だが、落ちで「(太って体格が) 大きい」という意味に転換する。

(11) “What will you do, dear, when you are as big as your mother?” “Diet.”

そこで、日本語訳では落ちを空白にし、転換前の意味に対する答え（「女優よ」）と無関係の答え（「そんなのわかんない」）と、正解の選択肢である転換後の意味に対する答え（「ダイエットよ」）とを順不同で並べた。

(11) 「あなた、お母さんぐらい大きくなったら何するの？」「_____」
 ①そんなのわかんない ②女優よ ③ダイエットよ

そして1～10の時と同様、この中から落ちとしてふさわしいと思うものを被験者に選んでもらった。この場合は1～10と違い、正解が一つであるので、残りの二つの選択肢の中から選んでいる者を不正解者とした。しかし分析にあたっては、不正解者を、転換前の意味に対する答えを選んだ者と無関係の答えを選んだ者とに分けて考えた。

21～30は、言語外の要素から成り立っているジョークの例である。例えば(21) は、イギリス特有の残虐性をもつジョークである。

(21) “Buried the cat last week.” “Was it dead?” “No, we just didn’t like it very much.”

ここでも落ちを空白にし、無関係の選択肢二つと順不同で並べた。

- (21) 「先週ネコを埋めたよ」「死んだの?」「いや、_____」①死にかけていたんだ ②病気だったんだ ③あまり気に入らなかったんだ

そして、この中から落ちとしてふさわしいと思うものを選んでもらった。この場合は正解が一つで、あとの二つは単なる不正解であるため、11~20のようには不正解者を分けて考えていない。なお21~22は「残虐性をもつジョーク」、23~24は「非現実性をもつジョーク」、25~26は「相手をひっかけるジョーク」、27~28は「専門家を笑うジョーク」、29~30は「子供を笑うジョーク」になっている。被験者の大学生は、全員文学部の学生（2回生~4回生）で、アンケート用紙を持ち帰ってもらい、一週間後に回答したものを持ってきてもらった。男女差は、さほど大きなものではなかったので、ここでは扱っていない。

この小論のねらいは、日本語に直訳された英語のジョークの落ちを、日本人が正しく予測できるかどうかを明らかにすることである。この調査では、英語のジョークは日本語に訳してもほぼ理解されるということが明らかになる。ただし言語的要素の強いジョークが理解されなかった場合は、そのジョークで全く関係のない選択肢（1~10の場合は③、11~20の場合は無関係の選択肢）を選んだ人の、他のジョークの理解度は低い。言語的要素のないジョークが理解されなかった場合は、そのようなことはない。

2. 調査結果

2.1 1~10（一つの語句に同時に二つの意味を持たせているジョーク）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①のみ	11	15	15	1	23	22	28	25	4	5
②のみ	18	17	14	33	12	13	3	13	27	15
③のみ	9	7	12	6	4	6	9	2	4	21
①と②	3	2	0	1	2	0	1	1	6	0

(1) ①を選んだ人、②を選んだ人、あるいは①と②を選んだ人が多い：1、2、3、4、5、6、7、8、9

(2) ③を選んだ人が多い：10

したがって、③が選ばれるのはまれであると考えてよい。10のみ③を選んだ人が最も多く、被験者の半分以上の人が③を選んでいる。

2.2 11～20（一つの語句の意味が途中で転換しているジョーク）

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
転換前の意味	2	11	3	4	1	3	8	5	9	11
転換後の意味（正解）	38	25	38	30	37	36	13	30	20	24
無関係の選択肢	1	5	0	7	3	2	20	6	12	6

(1) 正解を選んだ人が多い：11、12、13、14、15、16、18、19、20

(2) 不正解を選んだ人が多い：17（無関係の選択肢を選んだ人が多い）

したがって、ここにおいても、だいたい正解が選ばれると考えるとよい。17のみ、無関係の選択肢を選んだ人の数が最も多い。

2.3 21～30（言語外の要素から成り立つジョーク）

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
①	18	8	3	<u>22</u>	2	12	1	1	3	1
②	1	<u>30</u>	<u>29</u>	13	1	<u>9</u>	10	4	2	<u>39</u>
③	<u>22</u>	3	9	6	<u>38</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	1

（数字の下線は正解の選択肢であることを示す。）

(1) 正解を選んだ人が多い：21、22、23、24、25、27、28、29、30

(2) 不正解を選んだ人が多い：26（正解を選んだ人の数が最も少ない）

26は不正解を選んだ人が多いが、同じ「相手をひっかけるジョーク」である25は圧倒的多数の人が正解を選んでいるので、この種のジョークも、全く理解されないわけではない。したがって、言語外の要素から成り立つジョークはどれも、だいたい正解が選ばれると考えるとよい。

この調査結果から、英語のジョークは、一つの語句に同時に二つの意味を持たせているジョークであれ、一つの語句の意味が途中で転換しているジョークであれ、また言語外の要素から成り立つジョークであれ、その9割は日本

語に直訳しても、理解できると考えられる。それでは、言語的要素が関係ないとすると、残りの1割のジョークが理解されなかった理由は何かという疑問が残る。次章は、この問題を扱う。

3. 不正解を選んだ人が多かったジョーク

この調査を行なうにあたって、言語外の要素から成り立つジョークなら日本語に直訳しても理解できるだろうが、言語的要素の強いジョークはあまり理解できないのではないかと予想された。しかし、落ちの正解率に関する限り、ジョークが言語的要素をもっているかどうかは全く関係ないという結果が出た。それでは、言語的要素は、英語のジョークを日本語で受信する際に、本当に何の関係もないのであろうか。この章では、不正解を選んだ人が多かった10、17、26を調べることによって、この問題を考えてみる。

3.1 10（一つの語句に同時に二つの意味を持たせているジョーク）

この例では、オリジナルとは何の関係もない③を選んだ人が多い。それではこの10で①か②を選んだ人、③を選んだ人は、1～9、11～20、21～30ではどのような選択肢を選んでいるのか調べてみた。

A. 1～9について

- (1) 10で①か②を選んだ人 (20人)
 - 1～9がすべて①② : 6人 (30%)
 - 三つ以上③ : 5人 (25%)
- (2) 10で③を選んだ人 (21人)
 - 1～9がすべて①② : 4人 (19%)
 - 三つ以上③ : 6人 (29%)

したがって、10で①か②を選ぶ人は、1～9においても①②を選ぶ傾向があり、10で③を選ぶ人は、1～9においても③を選ぶ傾向がある。

B. 11～20について

(1) 10で①か②を選んだ人 (20人)

11～20がすべて正解 : 0人 (0%)

三つ以上不正解 : 9人 (45%)

(2) 10で③を選んだ人 (21人)

11～20がすべて正解 : 0人 (0%)

三つ以上不正解 : 11人 (52%)

この結果10で③を選んだ人の方が、11～20の正解率がやや低いと言える。

C. 21～30について

(1) 10で①か②を選んだ人 (20人)

21～30がすべて正解 : 0人 (0%)

三つ以上不正解 : 11人 (55%)

(2) 10で③を選んだ人 (21人)

21～30がすべて正解 : 0人 (0%)

三つ以上不正解 : 14人 (67%)

ここでは、10で③を選んだ人の方が、明らかに正解率が低い。

したがって、10で③を選ぶ多数派は、10で①か②の選択肢を選ぶ人よりも、1～9、11～20、21～30における正解率が低い。

3.2 17 (一つの語句の意味が途中で転換しているジョーク)

この例でも、オリジナルとは何の関係もない選択肢を選んだ人がひじょうに多い。ここでも、17でどういう選択肢を選んだ人が1～10、11～20 (17を除く)、21～30ではどういう選択肢を選んでいるのか調べてみた。

A. 1～10について

- (1) 17で転換前の意味を選んだ人(8人)
 1～10がすべて①② : 2人 (25%)
 三つ以上③ : 2人 (25%)
- (2) 17で転換後の意味(正解)を選んだ人(13人)
 1～10がすべて①② : 3人 (23%)
 三つ以上③ : 5人 (38%)
- (3) 17で無関係の選択肢を選んだ人(20人)
 1～10がすべて①② : 1人 (5%)
 三つ以上③ : 7人 (35%)

17で無関係の選択肢を選んだ多数派が、やや1～10で③を選ぶ傾向があるようである。17で正解を選んだ人がそれに次いでその傾向をもっている。

B. 11～20(17を除く)について

- (1) 17で転換前の意味を選んだ人(8人)
 11～20がすべて正解 : 3人 (38%)
 三つ以上不正解 : 5人 (63%)
- (2) 17で転換後の意味(正解)を選んだ人(13人)
 11～20がすべて正解 : 0人 (0%)
 三つ以上不正解 : 3人 (23%)
- (3) 17で無関係の選択肢を選んだ人(20人)
 11～20がすべて正解 : 3人 (15%)
 三つ以上不正解 : 7人 (35%)

17で正解を選んだ人のグループは、11～20で三つ以上不正解を出している人の比率も最低だが、すべて正解している人の比率も最低である。17で無関係の選択肢を選んだ多数派は、どちらの比率も二位になっている。

C. 21～30について

- (1) 17で転換前の意味を選んだ人(8人)
 21～30がすべて正解 : 0人 (0%)
 三つ以上不正解 : 5人 (63%)

(2) 17で転換後の意味（正解）を選んだ人（13人）

21～30がすべて正解：0人（0%）

三つ以上不正解：4人（31%）

(3) 17で無関係の選択肢を選んだ人（20人）

21～30がすべて正解：0人（0%）

三つ以上不正解：16人（80%）

ここでは明らかに、17で無関係の選択肢を選んだ多数派の正解率が一番低い。17で正解を選んだ人のグループは、不正解が三つ以上の人の比率は最も低いですが、すべて正解している人の比率は0%である。

したがって、17で正解を選んだ人の1～10、11～20、21～30における正解率は決して高くない。また、17で無関係の選択肢を選んだ多数派の正解率が、1～10、11～20、21～30を通じて、ころもち低く出ている。

3.3 26（言語外の要素から成り立つジョーク）

この例も、不正解の選択肢を選んだ人が多い。ここでも、26でどういう選択肢を選んだ人が1～10、11～20、21～30（26を除く）ではどういう選択肢を選んでいいのか調べてみた。

A. 1～10について

(1) 26で①を選んだ人（12人）

1～10がすべて①②：2人（17%）

三つ以上③：5人（42%）

(2) 26で②（正解）を選んだ人（9人）

1～10がすべて①②：0人（0%）

三つ以上③：4人（44%）

(3) 26で③を選んだ人（20人＝多数派）

1～10がすべて①②：4人（20%）

三つ以上③：6人（30%）

26で③（不正解）を選んだ多数派が1～10では①②を選ぶ傾向にあり、26で

②（正解）を選んだ人が、1～10では③を選ぶ傾向にある。

B. 11～20について

- (1) 26で①を選んだ人（12人）
11～20がすべて正解：0人（0%）
三つ以上不正解：7人（58%）
- (2) 26で②（正解）を選んだ人（9人）
11～20がすべて正解：0人（0%）
三つ以上不正解：4人（44%）
- (3) 26で③を選んだ人（20人＝多数派）
11～20がすべて正解：0人（0%）
三つ以上不正解：9人（45%）

わずかの差ではあるが、26で②（正解）を選んだ人が11～20における正解率が最も高い。③（不正解）を選んだ多数派の正解率は二位である。

C. 21～30（26を除く）

- (1) 26で①を選んだ人（12人）
21～30がすべて正解：3人（25%）
三つ以上不正解：3人（25%）
- (2) 26で②（正解）を選んだ人（9人）
21～30がすべて正解：0人（0%）
三つ以上不正解：3人（33%）
- (3) 26で③を選んだ人（20人＝多数派）
21～30がすべて正解：4人（20%）
三つ以上不正解：10人（50%）

26で③（不正解）を選んだ多数派の正解率がやや低い。②（正解）を選んだ人の正解率も低く、①（不正解）を選んだ人の正解率が最も高い。

この結果からは、26でどういう選択肢を選んだ人がジョークを理解できる人なのかを知ることはできない。26で正解を選んだ人は、1～10の正解率は最低だが、11～20の正解率は最高で、21～30の正解率は中位である。26で③

(不正解)を選んだ多数派は、1~10の正解率は最高だが、21~30の正解率は最低で、11~20の正解率は中位である。もうひとつの不正解①を選んだ人は、11~20の正解率は最低だが、21~30の正解率は最高で、1~10の正解率は中位である。したがって26でどのような選択肢を選んだかは1~10、11~20、21~30の正解率とあまり関係がない。

この結果から言えることは、多くの人不正解を選んだ10、17、26の例において正解を選んだからといって、他の例における正解率が高いとは限らないということである。また言語的要素の強い10、17において不正解を選んだ多数派は、同例で正解を選んだ人や、もうひとつの不正解を選んだ人に比べ、1~10、11~20、21~30の正解率が低い。一方言語的要素がない26の例については、ここで不正解を選んだ多数派の正解率が特に低いわけでも高いわけでもなく、もうひとつの不正解を選んだ人の正解率に際立った特徴があるわけでもない。

4. まとめ

この調査でわかったことは、英語のジョークは言語的要素の有無に関係なく、その9割は日本語に直訳しても理解されるということである。ジョークの落ちの正解率は、一つの語句に同時に二つの意味を持たせているジョークであれ、一つの語句の意味が途中で転換しているジョークであれ、また言語外の要素から成り立つジョークであれ、一貫して90%である。

ジョークのもつ言語的要素が関わってくるのは、残り1割の理解されないジョークの場合である。言語的要素の強いジョークが理解されなかった場合、そこで多数の人が選ぶような選択肢を選ぶ人が、一番落ちの正解率が低い。これに対して、言語的要素のないジョークが理解されなかった場合には、このような特徴は見られない。

ここで注意しておきたいのは、「言語的要素の強いジョークが理解されなかった場合、そこで多数の人が選ぶような選択肢」というのは、オリジナル

のジョークに現われる二つの意味とは何の関係もない選択肢だということである。10にしる17にしる、無関係の選択肢を選んだ人が最も多い。したがって、ここでいう多数派とは、そのジョークのおもしろさが言葉のあやに存在するのだということに気付かなかった人ということになる。こう考えてみると、この多数派の、落ちの正解率が一番低いことに納得がいく。理解されないジョークの場合、言語的要素の強弱が関係する理由はここにあるのである。

参考文献

- 郡司利雄 (1982) 『英語ユーモア講座』創元社。
 森浩二 (1980) 『英語のジョーク I』創元社。
 澤登春仁 (1990) 『英語的思考』講談社。
 杉田敏 (1990) 『アメリカン・ジョークの世界』ジャパンタイムズ。
 須沼吉太郎 (1993) 『ユーモラス・イングリッシュ』秀英書房。
 土屋利雄 (1989) 『ジョークで覚える英会話』創元社。

付録：「調査に使ったアンケート」

ここに英語のジョークを日本語に直訳したものが30あります。空白部に入ると思われる落ちを、三つの選択肢の中から選んでください。

1. 「私、どうしても女優になりたい」「それなら脚を折ったら?」「脚を折る?」「そうだよ。そうすれば何ヶ月か_____」①ギブスをはめていられるよ ②役をあててもらえるよ ③同情してもらえるよ
2. 「先生がサングラスをかけたのは?」「_____」①生徒がかしこかったから ②先生の瞳が光っていたから ③かっこつけたかったから
3. 幽霊「ジントニックをください」パーテン「_____」①幽霊には出しません ②酒類は出しません ③もうありません
4. 「森で本が楽に読めるのは?」「_____」①秋風が吹いて葉が色づくとき ②秋風がページをめくってくれるとき ③落葉の上で寝ころぶとき
5. 「魚にどうやって気持ちを伝えるの?」「_____」①釣り糸を垂らしてやります ②一筆書いてやります ③上から叫んでやります
6. 「うそつきが死ねばどうなる?」「_____」①じっと横たわっています ②やっばりうそをついています ③閻魔大王に舌をぬかれます
7. 「パン屋がドーナツ作りをやめるのは?」「_____」①穴のあいた仕事になったとき ②仕事全体が嫌になったとき ③売れなくなったとき

8. 「初めてほうきが作られたとき、発明者はどうした?」「とても疲れて _____」①掃除に出かけた ②眠ってしまった ③コーヒーを飲んだ
9. 学生「どうやって教授になるのですか?」教授「 _____」①学位で ②徐々に ③勉強して
10. 「マヨネーズは冷蔵庫に何と言ったでしょう?」「ドアを閉めてよ。 _____」①私はドレッシングよ ②着替え中よ ③寒いわよ
11. 「あなた、お母さんぐらい大きくなったら何するの?」「 _____」①そんなのわからない ②女優よ ③ダイエットよ
12. 「本を一冊ください」「軽いものですか」「軽い必要はないです。 _____」①私はインテリだから ②車で来ているから ③何でもいから
13. 「『ネズミ』のつづりを言いなさい」「M-O-U-S」「その最後は何?」「 _____」①わかりません ②E です ③尻尾です
14. 「パパ、気圧計が下がった」「たくさん?」「うん。 _____」①とっても気圧が低くなった ②そう思う ③150cm ぐらい。こわれちゃった
15. 「君の会社で働いている人は、どれくらい?」「 _____」①100人ぐらい ②10人に1人ぐらい ③調べていない
16. 「ひげのセールスマンが来ていますが」「消え失せろと言え。俺は _____」①そいつに用はない ②猛烈に忙しい ③もうひげが生えている
17. 「地下室のネズミをどうしましょう?」「いい考えがある。ウイスキーのボトルを砕いてネズミの穴にいれよう」「よさそうだけど _____」①地下室じゃ暗くて穴が見つからないんじゃないの ②どうやってネズミをじっとさせておくの ③あなたと私のどっちがするの
18. ある女性がスピード違反で逮捕されました。運転免許証は運転中は眼鏡をかけなければいけないという制限付きでした。彼女が眼鏡をかけていないのを見て、交通巡査は「眼鏡は?」と尋ねました。「私にはコンタクトがありますから」「 _____。交通反則切符を書くからね」①誰とコンタクトをもっていようと知ったことか ②私は罰金をとるのがとっても好きなんだ ③何が何でも眼鏡でなければダメじゃないか
19. ある上院議員がタクシーから降り、真新しい札を探しながら言った。「きれいな金が見えだろね」「 _____」①額が多けりゃいいです ②どうやってもうけた金でもいいです ③手あかがついていてもいいです
20. 弁護士の秘書が結婚したのですが仕事は続けることになりました。数週間後その弁護士が新婚家庭に電話すると、ご主人が電話に出ました。「私のブリーフが用意できているか、奥さんに聞いていただけますか?」「家内は _____」①そんな重要なものまで管理するのですか ②あなたの洗濯もするのですか ③私の妻ですか、あなたの秘書ですか
21. 「先週ネコを埋めたよ」「死んだの?」「いや、 _____」①死にかけていたんだ ②病気だったんだ ③あまり気に入らなかったんだ
22. 二人の英国人が夫人同伴で午後狩猟に出かけた。ひとりが獲物とおもわれるもの

- を見つけ引き金を引くと、もう少いで相棒の奥さんに当たるところだった。「おい君、もう少しで俺の家に当たるところだったぞ」「そいつはどうも」と、この狩猟家は言った。「_____」①それなら防弾チョッキでも着ておいてくれ ②この銃で俺の家内をズドンとやってくれ ③どうせばーっとしていたんじゃないのかい
23. 「昨日の夜、悪夢を見たよ」「どうしたんだ」「スパゲッティを食べている夢だったんだ」「どうしてそれが悪夢なんだ」「_____」①腐っているスパゲッティだったんだ ②目が覚めたらパジャマのひもがなくなっていたんだ ③この頃スパゲッティが続いているんだ
24. ある男がドッグ・フードのビスケットの味見をして好きになり、奥さんに幾箱か買ってくるように言った。「食べたら死にますよ」と乾物屋のおやじは言ったが奥さんは幾箱も買い、三ヵ月後主人が死んだと言った。「食べたら死ぬと言ったでしょ」「主人が死んだのはビスケットのせいではありません。_____」①自動車を追いかけていたのです ②何も食べなかったのです ③職場のストレスがたまったのです
25. 「ケツをふくのにどっちを使う?」「左手を使う」「妙だな。ほとんどの人は_____を使うぜ」①右手 ②両手 ③トイレットペーパー
26. 「昨日三人でおばあさんが道路をわたるのを助けてあげたよ」「それはいいことをしたね。でもなぜ三人も必要だったの?」「_____」①すごく重かったんだ ②道路をわたりたくなかったんだ ③誰が助けるか話し合いがつかなかったんだ
27. 世界的に有名な科学者が巨大な望遠鏡から空を見ていて、突然「雨になるぞ」と言った。「どうしてですか」「_____」①星の動きが変なんだ ②空が曇ってきているんだ ③俺のウオノメが痛むんだ
28. 患者「すごく恐いです。初めての手術ですからね」医者「その気持ちはよくわかります。_____」①私も昔手術を受けましたから ②手術をする医者側も緊張しますから ③あなたが私の初めての患者ですから
29. 「大きくなったら何になりたい?」「ぼくね、ライオンの調教師になるんだ。すごく手ごわいライオンを飼って、ぼくはおりの中に入っていくんだ。でも、もちろん_____」①ずーっと先のことだよ ②まだ考え中なんだ ③お母さんと一緒だよ
30. ある男の子が自分もっているソフトクリームがしたたっているのに気付き、ミンクのコートを着ている婦人の後ろのすそでふいた。と、姉が言った。「_____」①何やってんの ②ソフトクリームに毛がいっぱいつくじゃない ③女の人が困るからやめなさい